

## 令和3年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和4年5月17日

### 1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：鹿児島県

市町村名：奄美市

島名：奄美大島

協定対象漁業集落名：名瀬地区漁業集落

協定参加世帯数： 60 世帯（64 人）

（うち漁業世帯数： 29 世帯（29 人））

### 2. 協定締結の経緯

名瀬地区は漁業者数の減少、魚価の低下、高齢化に伴い後継者不足が進む一方であるため水揚量、水揚げ高の減少等の課題を抱えている。

産卵場の整備や放流事業、魚食普及活動等の事業を行い水揚量、水揚げ高、魚価の向上を図り、漁業者数の維持または新規漁業者にとって魅力ある水産業を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

### 3. 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・水産資源の確保のためトコブシの稚貝 6,000 個及び中間育成したシラヒゲウニ 300 個の放流を実施した。
- ・鹿児島県水産技術センターや瀬戸内漁協へ行き、シラヒゲウニの種苗生産の視察研修を実施した。
- ・漁業被害防止のためサメ駆除を2回（準備・仕掛け・回収×2回）実施し、9匹を駆除した。サメの種類はイタチ、ヨシキリ、メジロ等。
- ・産卵場の整備としてイカ柴を投入し、資源回復を図った。
- ・藻場造成のために他地区への視察研修を実施した。

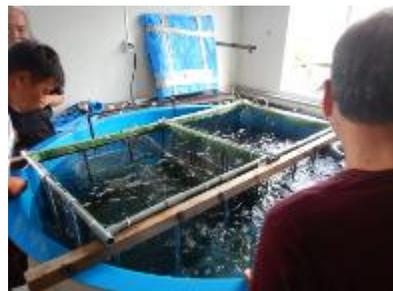
シラヒゲウニ放流



トコブシ放流



シラヒゲウニ研修



(別紙2)

サメ駆除



イカ柴設置



藻場造成



## ②漁業の再生に関する実践的な取組状況

- ・前年度に引き続きヒオウギガイを試験的に養殖し、追跡調査を実施した。
- ・ミートチョッパーを活用し安価な魚を使用した新商品の開発を行った。
- ・島内イベントでエビ汁や新商品のメンチカツを販売し、PR と魚食普及を図った。
- ・魚食普及施設（食堂）のメニュー開発を行った。
- ・魚食普及の一環として、イベントで水産関係のステッカーやグッズを配布した。



## 4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 811 千円

漁業集落漁業就業者数 29 名

- ・放流活動を実施したことにより、漁業資源の回復を図った。
- ・サメ駆除を行ったことにより、有害水産動物からの漁業被害防止になり漁業者の安全及び水揚げ高の向上に寄与した。
- ・藻場の追跡調査を実施することで藻場造成の成果、課題の確認ができた。
- ・ヒオウギガイ試験養殖の追跡調査を実施し手法の確立を図った。
- ・低未利用魚を活用し新商品を開発することにより、魚価の向上、所得の安定化を

(別紙2)

図った。

- ・島内の販売店に水産加工品を卸し、販路拡大に努めた。
- ・名瀬漁協の食堂兼簡易加工施設内「奄美小町」のメニューの見直しを図り、次年度以降の再開に向け準備を進めた。